



7/12(水) 大子町交通安全町民大会

茨城県の交通事故による死者数は、依然として全国ワースト上位であり、運転者や歩行者のマナーについて問題視されています。この会は互いに交通事故撲滅の決意を誓い、交通事故のない明るい大子町を築くことを目的に開催されてきています。本校からは、自らの体験をもとに IIA 星 龍将さん「油断が人の命を奪う」IIA 永山 咲希さん「交通事故を防ぐために」というタイトルで発表しました。また大子署の大塚さんからは、正しい自転車の乗り方について、「交通ルールは絶対に守りましょう」と強調した講話がありました。



7/14(金) 高大連携防災ワークショップ



大子町は、2019 年台風 19 号の被害を受けました。被害体験を、共有しながら、防災意識を高める活動をしている茨城大学人文学部の伊藤哲司教授と大学院生グループ、総合学科 1 年生 30 人が今後の大子町の町づくりについて話し合いました。また、ワークショップでは、大子町在住の方々からその当時の被害状況や災害ボランティアの活動、水郡線の復旧・復興までの様子を聞かせていただきました。一人ひとりからの大子町の将来像について意見交換がされました。

7/27(木)～29(日) 高所作業車運転技能講習会

7/31(月)～8/1(火) 小型車両系建設機械資格試験 8/5(土) フルハーネス型安全帯使用作業特別教育

8/21(月)～23(水) チェーンソー作業従事者特別講習会

8/24(木)～25(金) 刈払い機取扱作業安全衛生教育講習会

高所作業車運転の、学科は本校で、実技は茨城教育センターで行われ、4 名全員が合格できました。また小型車両系（ユンボ）の技能実技試験が本校会場で、猛暑の中努力の甲斐あって 14 名が合格という素晴らしい結果を得ることができました。

フルハーネス型安全帯使用作業特別教育資格取得は、安全衛生推進会茨城教育センターから講師をお迎えして技能講習会が行われ、5 名が合格しました。チェーンソー作業従事者特別講習会も、早朝から暑い日差しの照りつける中、真剣な眼差しで取り組んでいる受講生達の姿が印象的で、6 名が合格できました。刈払い機取扱作業は、受験者 8 名全員が合格し、まさに「必ず努力は報われる」という言葉どおりの快挙でした。



7/27(木) 第1回学校説明会

連日猛暑日が続く中、県外からの参加者も含め、中学3年生41名と保護者15名が第1回学校説明会に来校しました。生徒会による学校紹介や公営塾説明の後、農場施設、林業棟の生物工学室で大クワガタムシ飼育の様子を見学し、福祉棟で介護方法や施設実習についての説明を聞きました。さらにグラウンドや体育館で部活動の様子を見学しました。参加者の皆さんには、大子清流高校の素晴らしさを感じてもらえたようです。

次の学校説明会は10月14日(土)です。



2年生のインターンシップ実施(7/24~)

2年生21人が大子町内13事業所のインターンシップに参加しました。生徒自ら事前に事業所と連絡を取り、持ち物や勤務時間等の確認をすることから始めました。仕事の手順だけでなく、人との関わり方など、コミュニケーションの大切さを学びました。事業所の皆様方には大変お世話になりました。



8/11(金) 高校インターハイ2023 出場

3AF 高久楓師さんが北海道士別市民総合体育館で行われた、ウエイトリフティング61kg級に出場しました。クリーン&ジャーク110kg 9位という成績を残しました。今年度多くの大会を通しての活躍が目覚ましかったです。



9/11 上小川小学校福祉体験学習

上小川小学校5年生9名が来校し、2時間の福祉体験学習をしました。福祉系列の生徒が中心となって、視覚障害者体験や車いす体験を行いました。児童たちからは「車椅子を押すときは、声をかけると安心することが分かった」などの感想が聞かれました。

福祉系列の生徒達は授業で学んだ知識を活かし、体験学習を実践することで、各自成長を感じる機会となりました。

